

## かつお資源の持続的利用

政策提言先 水産庁

### 政策提言の要旨

- ◎ かつお資源の持続的利用について、引き続き国内的・国際的に適切な対応を検討するよう提言いたします。

### 【政策提言の具体的内容】

- ・ 中西部太平洋まぐろ類委員会（WCPFC）において、引き続きまき網漁船の隻数制限など適切な資源管理措置を構築し、かつお資源の持続的な利用が図られるよう提言します。

### 【政策提言の理由】

- ・ 平成17年以降、本県の沿岸域のかつお漁獲量が著しく減少しており、この原因として、中西部太平洋海域での諸外国のまき網漁業によるかつおの漁獲の影響が考えられます。
- ・ これまで、中西部太平洋海域のかつお資源水準は、「高位」にあると言われてきましたが、平成22年8月開催のWCPFCの科学委員会において、我が国が新しい資源評価手法を提示した結果、過剰な漁獲を示す方向に急速に変化していること、また、熱帯水域における高水準なかつおの漁獲が、日本近海への来遊量の減少を引き起こしている可能性があることが認識されました。
- ・ これを受けて国は、平成22年12月のWCPFCの年次会合において、かねてから本県からも要望しておりました大型まき網漁船の増隻抑制措置を提案していただきましたが、残念ながら採択には至りませんでした。
- ・ このように、かつお資源の悪化の兆しや、日本周辺海域への来遊量の減少という状況下で、本県をはじめ、我が国がかつお資源を持続的に利用していくためには、WCPFCにおいて、適切な資源管理措置を構築するよう引き続き働きかけることが必要です。